

森林の大切さ訴え

日南町 美術館 妖怪石こう原型展示



水木さんやねみ男をかたどった石こうに見入る子どもたち＝5日、日南町霞の町美術館

境港市の水木しづるロードにある妖怪アトリエの展示会「森林にすむ妖怪たち」

日南の豊かな森林づくりを考へる」が5日、日南町霞の町総合文化センターで始まった。来場者は森林の映像をバックに並ぶ白い妖怪たちに見入っている。3月13日まで。

森林資源を活用した交流事業などに取り組むNPO法人「フォレストアカデミージャパン」(矢田治美理事長)が主催。豊かな森こそ妖怪がすむという水木さんの持論にちなみ、保水や温暖化防止に欠かせない森林の大

切さを訴える狙い。

同センター内の町美術館で、漫画を描く水木さん、鬼太郎やねみ男など29体の石こう原型を展示。同NPO法人の狩野宏副理事長は「人として忘れていたことを思い出し、森林の大切さを考えていただければ。子どもたちには森林の中で育てほしい」と話した。

この日は講演会も開かれ、水木さんの妖怪絵巻をもとにした「妖怪の森」を同NPO法人と共に構想している

千年王国(境港市)の黒目友則さんら3人が講演した。